

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年7月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第27週(6月30日～)から第31週(～8月3日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は4週間に換算すると60.70で、6月の55.13と比べて増加した。増加の原因は新型コロナウイルス感染症、ヘルパンギーナとマイコプラズマ肺炎の増加である。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。2024年12月-25年1月の流行は比較的小さいものだった。2025年は第24週以降増加し、7月頃に流行が始まるのは5年連続となった。

1位は感染性胃腸炎で4週換算値が20.07(6月1位24.10)と減少した。2位は新型コロナウイルス感染症で13.72(同4位4.22)と増加した。3位は伝染性紅斑で8.23(同3位8.97)と横ばいだった。4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.20(同2位11.43)と減少した。5位はヘルパンギーナで6.90(同8位2.07)、6位はマイコプラズマ肺炎で3.58(同7位2.11)とともに増加した。急性呼吸器感染症は4週換算値が208.34で、6月の218.82と比べて横ばいだった。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	27週	28週	29週	30週	31週	計
1	感染性胃腸炎	5.44	5.39	5.30	4.19	4.77	25.09
2	新型コロナウイルス感染症	1.97	2.40	3.13	4.12	5.53	17.15
3	伝染性紅斑	2.32	2.06	2.08	1.88	1.95	10.29
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.36	2.30	2.20	1.60	1.79	10.25
5	ヘルパンギーナ	1.46	1.75	1.87	1.63	1.92	8.63
6	マイコプラズマ肺炎	0.75	0.91	0.99	0.83	0.99	4.47
	急性呼吸器感染症	52.71	52.66	54.03	48.20	52.82	260.42

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

上位6疾患の県内における報告数の合計は4週間に換算すると59.00で6月の41.71と比べて増加し、全国と同等だった(表2)。増加の主因はヘルパンギーナ、新型コロナウイルス感染症の増加である。

1位はヘルパンギーナで4週換算値が19.52(6月3位4.90)と増加し全国よりも多かった。2位は新型コロナウイルス感染症で14.68(同6位2.66)と増加し全国と同等だった。3位は感染性胃腸炎で9.36(同1位14.65)と減少し、全国よりも少なかった。4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.80(同2位13.20)と減少したが、全国と同等だった。5位は伝染性紅斑で3.92(同5位3.00)と増加したが全国よりも少なかった。6位は手足口病で3.72(同4位3.30)と増加し全国よりも多かった。急性呼吸器感染症は4週換算値が160.49で6月の167.12と比べて横ばいで、全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	27週	28週	29週	30週	31週	計
1	ヘルパンギーナ	5.75	6.55	5.70	4.05	2.35	24.40
2	新型コロナウイルス感染症	2.03	2.63	3.11	4.82	5.76	18.35
3	感染性胃腸炎	3.30	2.50	1.95	1.50	2.45	11.70
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.80	2.45	2.10	1.75	1.65	9.75
5	伝染性紅斑	1.10	0.75	0.90	1.05	1.10	4.90
6	手足口病	0.95	1.40	0.70	0.75	0.85	4.65
	急性呼吸器感染症	40.47	42.03	39.11	34.58	44.42	200.61

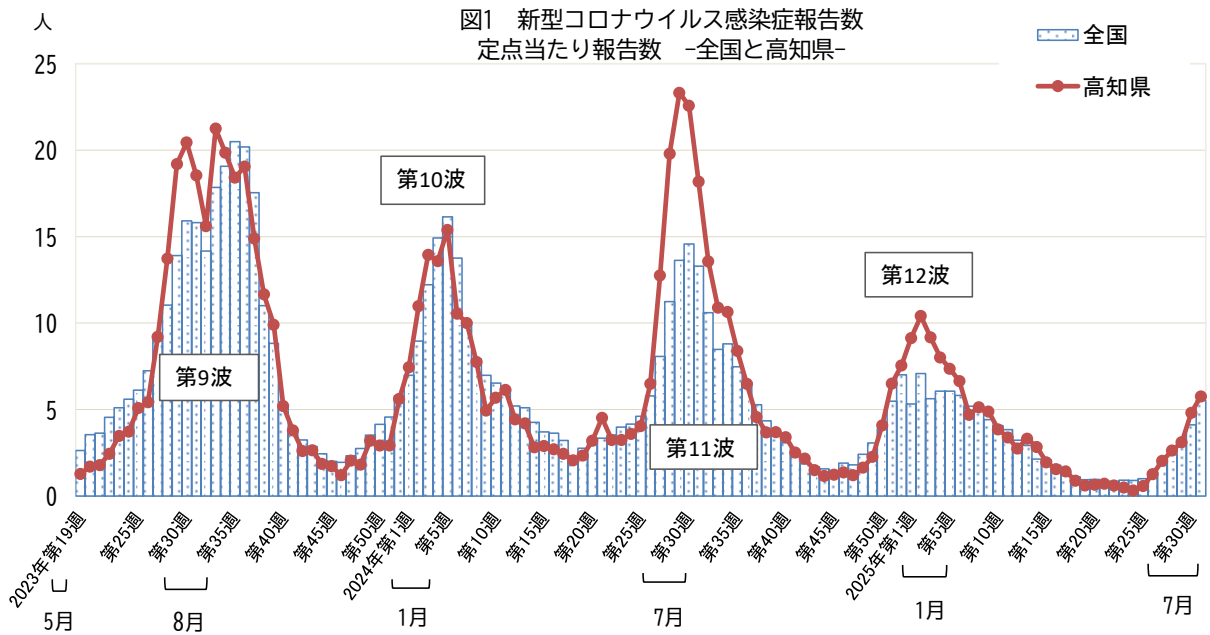
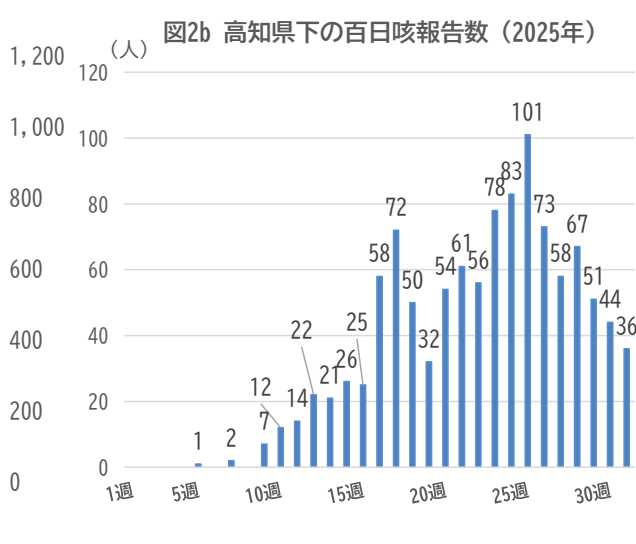
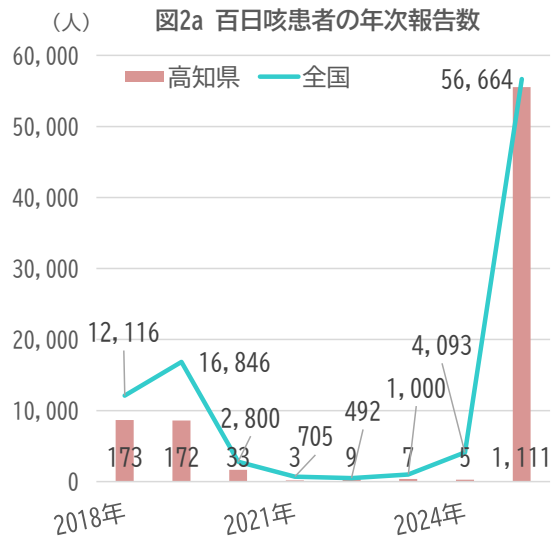


表3 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

年月	オミクロン株																	計					
	BA. 2	KP. 1	KP. 2	KP. 3	JN	LP. 8	MC. 1	MC. 28	NB. 1	BN. 1	FK. 1	XBB	XBC	XDQ	CK. 1	XEC	XEC. 2		XEC. 4	XEC. 5	XEC. 8	XEK	
2023 5										1		2											3
6												3											3
7												7				1							8
8											6	32											38
9											5	25	3										33
10	1											9											10
11	6											2											8
12	12				1							1											14
2024 1	25				2							9											36
2	37											4											41
3	11				1							1											13
4	2														6								8
5				3										5									8
6				10	1																		11
7			2	52	1																		55
8				48																			48
9				10			1																11
10		1		9			1																11
11				1																			1
12																	1						1
2025 1				5			1									3	7	1	1			1	19
2				1		2										2	5	3		1			14
3					1	1		1									8	2		1			13
4						2			1							2	2	2					9
5																				1			1
6																							0
7																							0



2. 全体の傾向

県下では麻疹、風しんの報告はないが、全国では麻疹が増加し、第30週までに191名の感染者が報告されている (<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-30.pdf>)。都道府県別では、神奈川県 39名、東京都25名、茨城県22名、千葉県16名、大阪府15名、兵庫県13名とつづき、実に29の都道府県で報告がみられる。四国においても香川県2名、徳島県1名が報告されている。患者は20～40歳代が主で64%を占め、「麻疹は成人の感染症」という認識が重要であるが、乳児および1～4歳もそれぞれ9%を占めている。海外で感染を受けた者（輸入感染例）が68名で、その内訳はベトナムが最多で54名、タイ3名、フィリピン2名、モンゴル2名、ベトナム/国内が2名、ベトナム/タイ、ベトナム/大韓民国、カンボジア/ラオス、パキスタン、イタリア/フランス、オランダ/ノルウェー、オーストリア/クロアチアが各1名である。麻疹含有ワクチンの2回接種が重要である。2回接種を受けてもまれに麻疹を発症することがあるが、この場合は軽症化し感染力が弱まる。

2月から県下で百日咳の発生届が増加し、8月6日までで1,111件に上っている。2025年は、全数報告が開始された2018年以降で最大の報告数となった（図2a, 図2b）。全国各地でマクロライド系抗菌薬耐性の百日咳菌の報告が相次ぎ、死亡例も報告されている。高知県の調査では、2025年4月～6月に採取された百日咳患者の60検体のうち17検体（28%）から、マクロライド系抗菌薬に耐性を示す百日咳菌が検出されている。

2024年12月に「新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の発生について、厚生労働省から通達があった（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345108.pdf>）。さらに、2025年2月6日には、E-11感染症の実態把握を目的に、厚労省は都道府県・保健所設置市に対して、積極的疫学調査の協力依頼を发出した（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>）。対象は重症感染症を呈した3か月以下の乳児で、①呼吸器由来検体（咽頭ぬぐい液等）、②消化器由来検体（ふん便や直腸ぬぐい液）、③血清、（④髄液）を衛生環境研究所に送付することとなっている。2024年に高知県ではE-11が6件検出されており、重篤となりやすい新生児感染例に注意する必要がある。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 7,623名（6月 6,350名）。2025年4月7日からサーベイランスが開始された。4週換算した報告数は、6月と比べて横ばいで、高知市、中央西、中央東、幡多、安芸、須崎の順に多く報告された。提出された22件の検体のうち86.4%からウイルスが検出された。その内訳は、Parainfluenza virus 3型が12件、同2型が2件、同1型と同4型が各1件、Rhinovirusが6件、Influenza virus AH1 pdm09 が2件、同A not subtypedが1件、Adenovirus 2型が1件、Respiratory syncytial virus Aが1件検出された。

2) インフルエンザ

報告数 80名（6月 19名）。2024/25シーズンは12月に著増し、第2週がピークで以後は減少したが、第14週にB型ウイルスの流行のため増加に転じ、第16週に2番目のピークを形成した。6月に流行はほぼ収束していたが7月はまたも増加した。

幡多で群を抜いて多く、中央東、須崎、中央西、高知市の順に多く報告された。急性呼吸器感染症を含めると、ウイルスはAH1pdm09が1月～2月に計17件、AH3 NTが1月～3月に計6件、2月～6月にB/Victoriaが計15件検出されていたが、7月はAH1 pdm09が2件検出された。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 697名（6月 101名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。波の高さは減衰しているが、年末年始と夏に流行する傾向は変わらない。

県下全域から報告があり、高知市、幡多、中央西＝須崎、安芸、中央東の順に多かった。県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。2023年10月以降はすべてオミクロン株のBA.2系統群に分類されるウイルスであったが、2025年1月～5月に、新たに登場したXECが7件、XEC.2 22件、XEC.4 8件、XEC.8 3件、XEC.5、XEC.6が各1件検出された。加えて、KP.3が6件、MC.1が5件、MC.28、LP.8、NB.1が各1件検出されている。

4) 咽頭結膜熱

報告数 27名（6月 31名）。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最大の報告数が続いたが、2024年5月以降は平年並に落ち着いている。須崎、高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。急性呼吸器感染症の者から Adenovirus 2型が1件検出された。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 195名（6月 264名）。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年は平年並で推移している。安芸以外から報告され、高知市、幡多、中央西、須崎、中央東の順に多かった。細菌は検出されていない。

6) 感染性胃腸炎

報告数 234名（6月 293名）。2020年以降は少ない数で推移していた。2025年3月に増加がみられたが、4月以降は平年並である。県下全域から報告があり、幡多と高知市がとくに多かった。病原体は検出されていない。

7) 水痘

報告数 12名（6月 13名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているが、稀少な感染症となったわけではない。幡多と高知市から報告があった。

8) 手足口病

報告数 93名（6月 66名）。2024年は4月に流行が始まり、二峰性流行（流行株はCoxsackievirus A6、同A10と同A16の3種類）となり、過去10年間で最大規模だった。2025年は5月40名、6月66名、7月93名と徐々に増加しており、まだピークアウトしていない。安芸以外の全域から報告されており、高知市と幡多がとくに多かった。Echovirus 18が2件、Enterovirus 71が1件検出された。

9) 伝染性紅斑

報告数 98名（6月 60名）。2024年10月から増加し、2025年1月～6月は過去10年間で同時期として最多を更新した。安芸以外の地域から報告があり、幡多、高知市、中央西がとくに多かった。Human parvovirus B19は、重症貧血を起こし（aplastic crisis）、妊婦に感染すると流産の原因となることに注意する必要がある。同ウイルスが2月～6月に21件検出されている。

10) 突発性発疹

報告数 33名（6月 38名）。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 488名（6月 98名）。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模で、原因ウイルスは不明だった。2025年は5月に9名、6月98名、7月488名と増加し流行が始まった。7月の488名は過去10年間で同時期として最多の報告数だった。ウイルスはCoxsackievirus A4が6月1件、7月に5件が検出されており、今季の流行株である。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 3名（6月 5名）。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。高知市で2名、幡多で1名が報告された。

13) RSウイルス感染症

報告数 88名（6月 33名）。2021年から4年連続で夏に流行した。2025年は1月に増加に転じ、3-4月は同時期として過去10年間で最多となり、3月をピークに減少していたが、7月に再び増加に転じた。県下全域から報告があり、とくに多かったのは高知市と中央東である。急性呼吸器感染症と合わせるとRS virus A型とB型が各1件検出された。

RSウイルス感染症は、小児の全てが乳幼児期に罹る気道感染症の中では最も重症で年少児ほど入院のリスクが高い。須崎市では、この疾患を予防するモノクローナル抗体（ニルセビマブ）の保険適応外使用、すなわち基礎疾患のない乳児への使用を公費負担で行うことを決め、6月から投与開始されている。日本で初めての試みであり、効果が期待される。

14) 流行性角結膜炎

報告数 1名（6月 2名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名（6月 0名）。高知市から50代の患者が1名報告され、本年2例目となった。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年は11名に達している。

16) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名（6月 0名）。高知市から70歳以上の患者が1名報告され本年6例目となった。従来は年間20～

30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は一桁の数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 34名（6月 15名）。2024年は過去10年間で最大の流行となり、10月をピークに減少に転じたが、報告は続いている。高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 27名（6月 22名）。中央東、高知市、安芸の順に多く報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 2名（6月 0名）。10代前半の患者と70歳以上の患者が1名ずつ報告された。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっていたが、本年の累計はすでに3名となった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和7年7月）

類型	病名	報告年																
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	34	
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	34	
3	コレラ	1																
	細菌性赤痢							2										
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	5	
	腸チフス						1				1							
	パラチフス																	
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	5	
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1	
	E型肝炎	1		1							2	1		1				
	オウム病								1									
	Q熱																	
	サル痘															1		
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	14	
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3		
	デング熱	1			3	2	1				2							
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	16	
	日本脳炎	1																
	マラリア		1								1				1	1		
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	5	
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1			
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	36	
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1		
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	6	
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2		
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	2	
	ジアルジア症		1	1						1								
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	10	
	侵襲性髄膜炎菌感染症						2	1	1	3		3	3	3	1		1	
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		4	
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	23	
	播種性クリプトコックス症							1	3	5				4	3	1		
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1								
	百日咳										173	172	35	3	9	7	4	1,094
	風しん			4	9	1					3							
麻しん																		
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	130	114	110	97	1,152	
動物	鳥インフルエンザ		1															
	計		1															
	総計	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	224	224	217	196	1,227	

類型	病名	報告月							総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
2	結核	4	4	7	1	2	6	10	34
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1			1	2	5
4	A型肝炎			1					1
	重症熱性血小板減少症候群				1	5	5	3	14
	日本紅斑熱					11	3	2	16
	レジオネラ症	1		1		1	1	1	5
5	ウイルス性肝炎		1	1					2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1				1	4	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1				2
	急性脳炎							1	1
	後天性免疫不全症候群				1	1			2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		2	1	2	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1			1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	1		1	2	10
	水痘（入院例に限る）	1		1		1		1	4
	梅毒	4	7	2	3	4	2	1	23
百日咳	1	8	62	164	267	317	275	1,094	
総計		15	24	79	172	295	338	304	1,227

高知県感染症情報 月報（55定点医療機関）

2025年

7月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	276	1,349	3,701	947	340	1,010	7,623	6,350	
	インフルエンザ		12	7	3	5	53	80	19	70
	新型コロナウイルス感染症	44	95	267	76	76	139	697	101	3,451
小児科	咽頭結膜熱		2	16		6	3	27	31	51
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	125	16	9	30	195	264	257
	感染性胃腸炎	3	10	130	15	14	62	234	293	249
	水痘			6			6	12	13	7
	手足口病		6	72	2	2	11	93	66	377
	伝染性紅斑		2	47	10	4	35	98	60	
	突発性発疹		2	20		6	5	33	38	20
	ヘルパンギーナ	13	73	187	69	18	128	488	98	125
	流行性耳下腺炎			2			1	3	5	5
	RSウイルス感染症	1	14	63	1	3	6	88	33	417
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎						1	1	2	1
STD	性器クラミジア感染症		1	4				5	8	10
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1				2	2	
	尖圭コンジローマ									1
	淋菌感染症			1				1		2
基幹	細菌性髄膜炎			1				1		2
	無菌性髄膜炎			1				1		1
	マイコプラズマ肺炎		3	29			2	34	15	16
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）						1	1	6	1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	6	20				27	22	12
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1	1				2		1
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1						1		
計	63	243	1,000	192	143	483	2,124	1,076	5,076	
前月	16	113	593	76	106	172				
前年同月	254	864	1,877	731	499	851				
小児科定点数	1	4	8	2	2	3				

高知県感染症情報 月報 (55定点医療機関)

2025年

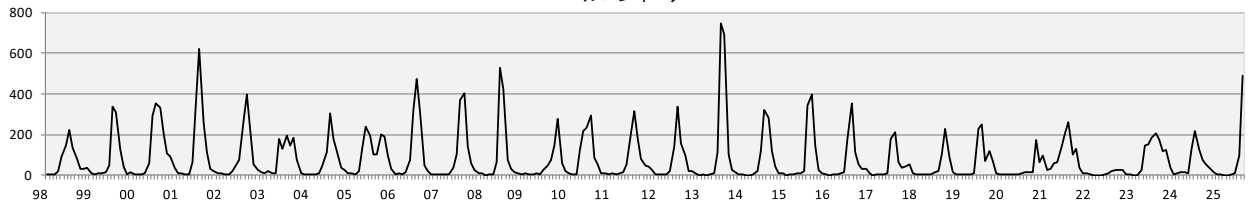
7月

定点当たりの人数

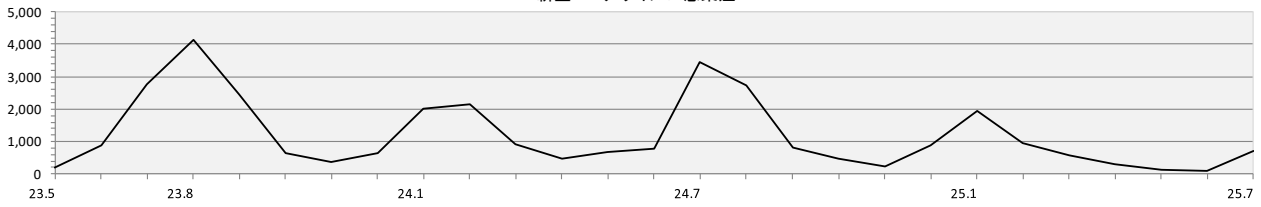
定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	91.99	192.71	284.69	236.75	85.00	144.28	200.61	167.12		
	インフルエンザ		1.72	0.53	0.75	1.25	7.56	2.10	0.50	1.60	
	新型コロナウイルス感染症	14.67	13.58	20.53	19.00	19.00	19.86	18.35	2.66	78.44	
小児科	咽頭結膜熱		0.50	2.01		3.00	0.99	1.35	1.55	2.04	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.75	15.64	8.00	4.50	9.99	9.75	13.20	10.28	
	感染性胃腸炎	3.00	2.50	16.26	7.50	7.00	20.67	11.70	14.65	9.96	
	水痘			0.77			2.00	0.60	0.65	0.28	
	手足口病		1.50	9.01	1.00	1.00	3.66	4.65	3.30	15.08	
	伝染性紅斑		0.50	5.88	5.00	2.00	11.67	4.90	3.00		
	突発性発疹		0.50	2.51		3.00	1.66	1.65	1.90	0.80	
	ヘルパンギーナ	13.00	18.25	23.38	34.50	9.00	42.67	24.40	4.90	5.00	
	流行性耳下腺炎			0.26			0.33	0.15	0.25	0.20	
	RSウイルス感染症	1.00	3.50	7.89	0.50	1.50	2.00	4.40	1.65	16.68	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎						1.00	0.33	0.67	0.33	
STD	性器クラミジア感染症		0.50	2.00				0.83	1.33	1.67	
	性器ヘルペスウイルス感染症		0.50	0.50				0.33	0.33		
	尖圭コンジローマ									0.17	
	淋菌感染症			0.50				0.17		0.33	
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.26	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.13	
	マイコプラズマ肺炎		3.00	5.80			2.00	4.27	1.89	2.00	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)						1.00	0.13	0.76	0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	6.00	4.00				3.38	2.75	1.50	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1.00	0.20				0.25		0.13	
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1.00						0.13			
小児科定点分計		31.67	46.30	104.67	76.25	51.25	123.06	84.00	48.21	140.36	
前月		11.66	24.10	66.37	34.25	50.75	52.71				
前年同月		74.50	99.26	161.80	205.75	154.50	142.14				

注目される疾患の月別推移

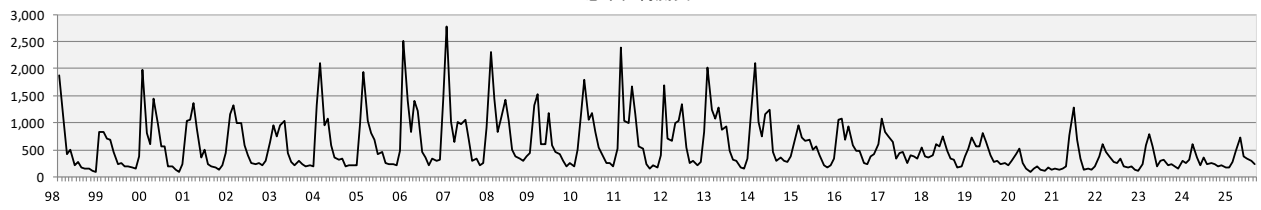
ヘルパンギーナ



新型コロナウイルス感染症



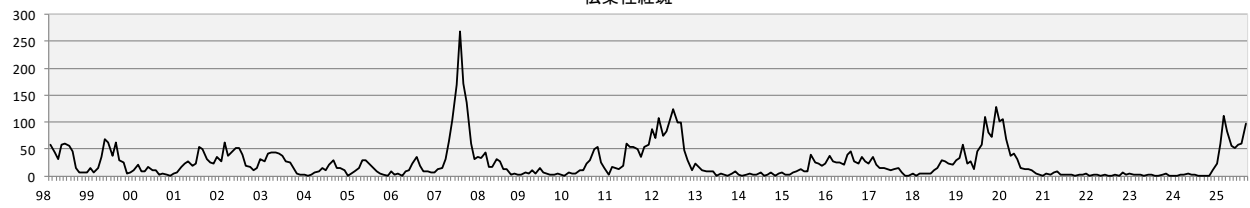
感染性胃腸炎



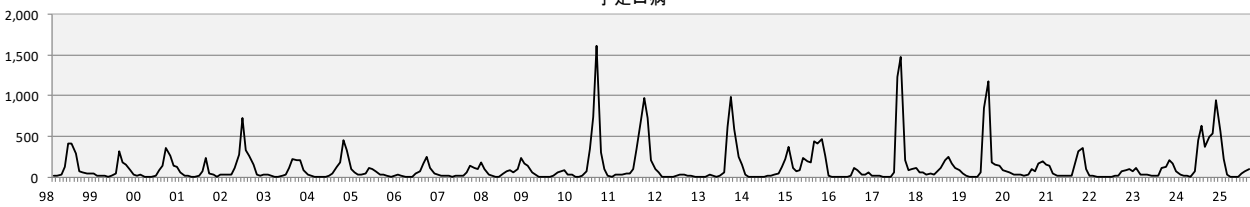
A群溶血性レンサ球菌感染症



伝染性紅斑



手足口病



高知県感染症情報（月報）
2025年7月

検査情報

ウイルス，細菌の分離状況

令和7年7月はウイルス60件の搬入があり、そのうち ウイルス60件の病原体を検出し、6月に搬入された検体からウイルス7件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus2 2件、Coxsackievirus A4 8件、Echovirus 18 5件、Enterovirus 71 1件、Epstein-Barr virus 2件、Human herpes virus 6 2件、Human herpes virus 7 4件、Influenza virus A H1pdm09 2件、Influenza virus A not subtyped 1件、Parainfluenza virus 1 2件、Parainfluenza virus 2 2件、Parainfluenza virus 3 14件、Parainfluenza virus 4 1件、Respiratory syncytial virus A 1件、Respiratory syncytial virus B 1件、Rhinovirus 19件であった。

ウイルス，細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	6/10	Rhinovirus
2	3	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	6/10	Rhinovirus
3	11か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	6/16	Adenovirus 2
4	2	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽, 気管支炎,	鼻汁	6/16	Rhinovirus Parainfluenza virus 3
5	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	6/16	Rhinovirus
6	11か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽, 気管支炎,	鼻汁	6/17	Rhinovirus
7	2	女	ヘルパンギーナ	39℃, 下痢,	ぬぐい液	6/17	Coxsackievirus A4
8	6	女	咽頭結膜熱	40℃, 咳嗽, 上気道炎, 下気道炎,	鼻咽頭ぬぐい液	6/17	Rhinovirus
9	11か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽, 上気道炎,	鼻汁	6/19	Rhinovirus Adenovirus 2 Parainfluenza virus 3
10	3か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽, 上気道炎,	鼻汁	6/19	Parainfluenza virus 3
11	6か月	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	6/20	Echovirus 18 Rhinovirus
12	6か月	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	6/20	Echovirus 18 Rhinovirus
13	3	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃,	ぬぐい液	6/20	Coxsackievirus A4
14	1か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	6/23	Parainfluenza virus 3
15	6か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽, 気管支炎,	鼻汁	6/23	Parainfluenza virus 3 Respiratory syncytial virus A
16	3	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽, 上気道炎,	鼻汁	6/23	Parainfluenza virus 3 Parainfluenza virus 4 Rhinovirus
17	4	女	水痘疑い	水疱, 発疹,	ぬぐい液	6/24	Human herpes virus 7
18	3	女	ヘルパンギーナ	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	6/26	Coxsackievirus A4
19	1	女	手足口病疑い	38℃, 下痢, 発疹,	ぬぐい液	6/27	Rhinovirus
20	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	6/27	Parainfluenza virus 3
21	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	6/30	Influenza virus A H1pdm09
22	3	男	ヘルパンギーナ	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	6/30	Parainfluenza virus 3 Coxsackievirus A4
23	3	男	ヘルパンギーナ	40℃,	ぬぐい液	6/30	Coxsackievirus A4
24	3か月	女	ヘルパンギーナ	水疱,	ぬぐい液	6/30	Rhinovirus
25	9	女	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	6/30	Human herpes virus 7 Rhinovirus
26	1	女	不明発疹症	37℃, 発疹,	ぬぐい液	7/1	Epstein-Barr virus
27	2	男	伝染性単核症疑い	40℃, 発疹,	ぬぐい液	7/2	Parainfluenza virus 3 Epstein-Barr virus
28	11	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	7/2	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
29	11	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	7/2	Rhinovirus
30	11か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	7/3	Parainfluenza virus 3
31	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻汁	7/3	Parainfluenza virus 3
32	4	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽, 上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい液	7/4	Parainfluenza virus 2
33	3か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	7/4	Rhinovirus Parainfluenza virus 3
34	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	7/4	Parainfluenza virus 3
35	3	男	ヘルパンギーナ	39℃,	ぬぐい液	7/7	Coxsackievirus A4

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
36	2	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	7/9	Rhinovirus
37	5か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	7/9	Parainfluenza virus 3 Rhinovirus
38	1	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	7/10	Echovirus 18
39	1	男	不明発疹症	38℃, 発疹,	ぬぐい液	7/14	Rhinovirus
40	2	女	不明発疹症	38℃, 発疹,	ぬぐい液	7/15	Coxsackievirus A4
41	3	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	7/16	Rhinovirus
42	8	女	不明熱	39℃,	ぬぐい液	7/18	Parainfluenza virus 1
43	2	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	7/18	Influenza virus A H1pdm09
44	2	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽,	うがい液	7/18	Influenza virus A not subtyped
45	8	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 嘔吐,	ぬぐい液	7/18	Parainfluenza virus 1
46	2	男	ヘルパンギーナ	39℃,	ぬぐい液	7/18	Coxsackievirus A4
47	2	女	RSウイルス感染症	39℃, 咳嗽, 気管支炎,	鼻咽頭ぬぐい液	7/22	Respiratory syncytial virus B
48	4	女	手足口病	咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	7/23	Enterovirus 71
49	5	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	7/24	Echovirus 18 Human herpes virus 7
50	5	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃,	ぬぐい液	7/25	Parainfluenza virus 2
51	4	男	突発性発しん	38℃, 発疹,	ぬぐい液	7/26	Echovirus 18 Human herpes virus 6

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2025年							2025年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			2	1				3
	Rhinovirus							1	1
	計			2	1			1	4
RSウイルス感染症	Adenovirus 2					1			1
	Parainfluenza virus 3						1		1
	Respiratory syncytial virus A					4			4
	Respiratory syncytial virus B					2	3	1	6
	Rhinovirus					1	2		3
計					8	6	1	15	
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1			1
	Adenovirus 5			1			1		2
	Adenovirus C						1		1
	Parainfluenza virus 3						1		1
	Rhinovirus		1				1	1	3
計		1	1		1	4	1	8	
インフルエンザ	Epstein-Barr virus			1					1
	Influenza virus A H1pdm09	15	2						17
	Influenza virus A NT	1							1
	Influenza virus A H3 NT	3	2	1					6
	Influenza virus B/Victoria		2	2	1				5
計	19	6	4	1				30	
感染性胃腸炎	Adenovirus 2		1		1				2
	Adenovirus 41				1	1			2
	Astrovirus NT			1					1
	Norovirus GII NT		2	7	7				16
	Rhinovirus				1				1
	Rotavirus group A G1						1		1
	Rotavirus group A G3					1			1
	Rotavirus group A G8		1		1	1			3
	Rotavirus group A NT					1			1
Sapovirus genogroup unknown			1	2	2			5	
計		4	9	13	6	1		33	

臨床診断名	病原微生物	2025年							2025年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	22	21	12	4				59
	計	22	21	12	4				59
水痘	Human herpes virus 7					1			1
	human parvovirus B19						1		1
	Varicella-zoster virus	1				2	1		4
	計	1				3	2		6
手足口病	Echovirus 18							2	2
	Enterovirus71	1	1					1	3
	Epstein-Barr virus	1					1		2
	Human herpes virus 6		1						1
	Human herpes virus 7							2	2
	Parainfluenza virus 1						1		1
	Parainfluenza virus 3						1		1
	Rhinovirus		1					1	1
計	2	3				4	6	15	
伝染性紅斑	Adenovirus 2					1			1
	Adenovirus 41				1				1
	Adenovirus 54					1			1
	Epstein-Barr virus					1			1
	Human herpes virus 6		1			1			2
	Human herpes virus 7		1		7	3	3		14
	Human metapneumovirus			1					1
	human parvovirus B19		1	2	7	6	5		21
計		3	3	15	13	8		42	
突発性発疹	Echovirus 18							1	1
	Human herpes virus 6	1	1					1	3
	計	1	1					2	4
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A4						1	5	6
	Parainfluenza virus 3							1	1
	Rhinovirus				1			1	2
	計				1		1	7	9
その他	Adenovirus 1					1	1		2
	Adenovirus 2		1		1				2
	Adenovirus C						1		1
	Coxsackievirus A4							1	1
	Cytomegalovirus		1	1	1				3
	Echovirus 18		1					2	3
	Epstein-Barr virus			2	1	1	1	2	7
	Human herpes virus 6		1	2	3	2	2	1	11
	Human herpes virus 7				2	3	3	2	10
	Human metapneumovirus		2						2
	human parvovirus B19	1		2	1	3			7
	Norovirus GII NT		1	1	2	1			5
	Parainfluenza virus NT					2			2
	Parainfluenza virus 1							1	1
	Parainfluenza virus 3						1	1	2
	Respiratory syncytial virus B	1							1
	Rhinovirus	1	2	1	2	2	3	5	16
	Sapovirus genogroup unknown				1				1
	Varicella-zoster virus				1				1
<i>Escherichia coli</i> astA, aggR (+)	1							1	
計	4	9	9	15	15	12	15	79	
総計	49	48	40	50	46	38	33	304	

急性呼吸器感染症

臨床診断名	病原微生物	2025年				2025年総計
		4月	5月	6月	7月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1	1		3
	Adenovirus C			4		4
	Adenovirus 1		1			1
	Adenovirus 2		3	2	1	6
	Coxsackievirus A4			1		1
	Echovirus 18		1			1
	Enterovirus NT			1		1
	Human metapneumovirus	3	1			4
	Influenza virus A H1pdm09				2	2
	Influenza virus A not subtyped				1	1
	Influenza virus B/Victoria	6	1	3		10
	Parainfluenza virus 1				1	1
	Parainfluenza virus 2				2	2
	Parainfluenza virus 3		10	14	12	36
	Parainfluenza virus 4		1		1	2
	Respiratory syncytial virus	1				1
	Respiratory syncytial virus A		1	1	1	3
	Respiratory syncytial virus B	3	2	3		8
	Rhinovirus	14	11	8	6	39
SARS-CoV-2	20	3			23	
	検査検体数	28	28	27	22	105
	検出率 (%)	96.4	85.7	92.6	86.4	90.5